

第11回会議での「地域課題」へのまとめと今後の方向性

<地域課題>

身寄りのない高齢者が安心して暮らせる地域づくり～高齢者の身寄り問題への対応と支援体制～

○主な意見・提言

- ・元気なうちから隣近所との付き合いがある
- ・元気なうちから（介護度が上がる前から）対象者の把握
- ・高齢者にとって緊急時の行政の窓口、いざというときの窓口がわかる手順書
- ・支援者には、本人の基本情報をまとめたフェースシートの整理
- ・ひとり暮らし台帳の連絡先がない人がどれだけいるかの把握、検討
- ・具体例をあげた市の相談窓口の周知
- ・個人情報適切な運用と緊急時・必要時は関係機関と情報共有できる仕組み
- ・市の高齢者見守りシールの普及をすすめる

○会長より総括

- ・介護の有無関係なく、1人1人の情報を把握する必要がある。情報収集には福祉部のみでは難しい。他の部署との連携も図りたい。
- ・独居の方の個人情報を集約し、関係者が把握する方法はないか検討が必要

今後の方向性

1. 個人情報の取扱いの円滑化（緊急時、必要時の共有の仕組み）→庁内ほかの部署を交え検討
2. ひとり暮らし台帳の活用（連絡先の情報がない人への包括の実態把握）→**優先的に取り組む**
3. 相談支援体制の見える化（関係者との連絡共有ができるフォーマット等の作成）→**優先的に取り組む**
4. 隣近所との関係づくり（元気なときからのつながりづくり）→生活支援体制整備事業の推進